記　者　発　表

平成２６年１１月１０日
国　土　交　通　省
東 北 技 術 事 務 所

空輸対応型バックホウの分解・組立訓練を実施します。

東北技術事務所では、事務所構内において「空輸対応型バックホウ」の分解・組立訓練を実施します。

空輸対応型バックホウは、陸路による重機の運搬が不可能な箇所（河道閉塞等）における応急復旧工事を効率的・効果的に行うため、ヘリコプターで空輸が可能な３ｔ未満に分解することが可能なバックホウであり、現地作業を想定した分解・組立訓練を実施するものです。

１．日　　時：平成２６年１１月１３日（木）９：３０～１１：３０
　　雨天決行（大雨等の場合は、問い合わせ願います。）

２．場　　所：東北技術事務所構内　※案内図参照

３．実施概要
　使用機械：空輸対応型バックホウ（１．０m3級）
　訓練内容：ヘリコプターでの空輸を想定した分解・組立作業

４．その他
　見学を希望する方はヘルメットを準備しますので、平成26年11月12日（水）までに問い合わせ先まで連絡願います。

発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

問い合わせ先
国土交通省　東北技術事務所
住　所：多賀城市桜木三丁目６－１
ＴＥＬ：０２２－３６５－８１５８（代表）
副所長（機械）　狩野　武志
防災・技術課長　佐藤　信之

別紙

〇分解・組立訓練の概要

東北技術事務所の構内において、実際の災害現場を想定した分解・組立作業を行い、分解・組立を行う際の各ブロックの配置や実施手順、クレーンの段取り換え、留意点などについての確認を実施するものです。

【クレーンを用いた分解作業】

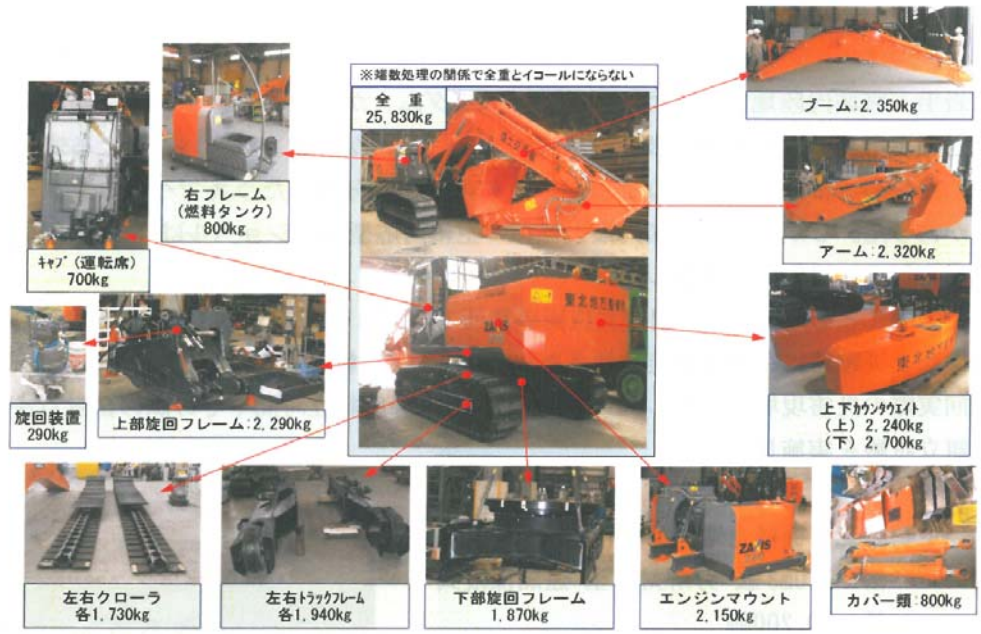
バックホウ本体（25.83t）を３ｔ未満の１５ブロックに分解する作業

【小型クレーンを用いた組立作業】

災害現場を想定し、３ｔ未満の１５ブロックを組み立てる作業



空輸対応型バックホウ全景



ヘリコプターで空輸するため３ｔ未満の１５ブロックに分解

案内図

交通アクセス

・ＪＲ仙石線の多賀城駅から徒歩２０分、車で１０分

・バスは宮城交通七ヶ浜方面乗車、桜木三丁目下車徒歩３分。

